

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月26日(月) 13:00～14:30
- 3 開催場所 羽島高等学校小会議室
- 4 参加者

会 長	兼松 博之	中部学院大学専任講師
副会長	大竹 恵子	国際ソロプチミスト羽島会長
委 員	高橋 浩之	竹鼻中学校長
	山田 昌子	本校育友会副会長
	渡邊 早示子	羽島の未来を築く会理事
	渡辺 憲治	羽島商工会議所専務理事兼事務局長
	渡邊 丈展	本校同窓会長(欠席)
学 校 側	高橋 範行	校長
	柴田 祐一	教頭
	柳原 英紀	事務長
	中田 啓士	教務主任
	浦部 陽	進路指導部長
	野中かおり	生徒指導部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長が挨拶と学校運営協議会についての説明を行った。
- (2) 協議会の会長が兼松様に、副会長が大竹様に決まった。
- (3) 令和7年度スクールミッション、ポリシーと学校経営計画の説明を行った。
- (4) 教育指導の重点について教務部、生徒指導部、進路指導部の順に説明を行った。
- (5) 校内視察、授業視察を行った。
- (6) 本校への意見、提言等

意見1: 生徒はとても落ち着いている。50分の授業の中で、生徒を集中させるのは大変で先生方は本当によくやっている。

意見2: アウトプットに力を入れることは、大学の講義でも必要性を感じている。小、中学校からタブレットを使用し、アウトプットの学習をしてはいるが、大学で国家試験の対策をしていると、基礎学力不足の気になることが増えてきている。中学校での学びが完成していない生徒が増えているが、どのような対策を考えているか。

⇒ 週末課題や補習に力を入れ、タブレットやスマホでも活用できる「Classi」という学習アプリを利用して取り組んでいる。生徒の利用率がとても高く成果が出ている。

意見3： 単位制で、自分で学びたいと思うことを選んで学べることはとても良い。少人数で授業を展開することで、生徒のやる気を引き出しているように感じた。

意見4： 進路指導では「自己理解」から取り組むことで、目標がはっきりとした3年間で良い。大学でも「自己理解」が不十分な学生がいる中で、高校段階で「自己理解」の大切さをしっかりと指導していただいている。

意見5： 「毎月15日の挨拶ランド羽島」に関わってきているが、羽島高校が年々良くなっていることが分かった。「対話を大切にする授業」が良い。生徒と先生に笑顔がみられ顔つきが良い。生徒は授業で分かるようになってきている。分かることで、学ぶことの喜びを感じている。

意見6： アルバイトが認められたのはいつごろか。アルバイトや地域の活動に参加することで成長することが多くある。地域と連携して成長する機会を増やして欲しい。

⇒ アルバイトは10年ほど前から届出制としている。学業が疎かにならないように指導している。地域との連携は引き続き充実させていく。

意見7： 40名一斉授業ではなく、個々を大切にした対話のある授業で、大学のように自分で選択して学ぶことができることは良い。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して承認が得られた。
- ・本校の教育活動を高く評価していただける意見が多くいただけた。
- ・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。